

同窓会報

2010年(平成22年)10月1日発行
 [発行] 四日市大学 同窓会事務局
 〒512-8512 四日市市萱生町1200
 TEL&FAX 059-365-6791
 E-mail dousou@yokkaichi-u.ac.jp



愛知支部設立5周年記念懇親会

CONTENTS

- ご挨拶(愛知支部長 半谷 眞一郎)..... 1
- 母校への寄贈..... 1
- 第4回 ゴルフコンペ..... 1
- 同窓会成績優秀者奨学金授与..... 1
- 懐かしの先生は、今..... 2
- 平成21年度同窓会総会報告..... 2
- 活躍する同窓生 一松永 兼治さん..... 3
- ごみゼロウォーク・エコフェアin四日市大学..... 3
- サッカー部天皇杯出場..... 4
- 大学祭へ行こう!..... 4
- キャリアサポートセンターからのお便り..... 5
- 四日市大学 平成23年度入試概要..... 5
- 情報センター利用案内..... 6
- 国際交流企画パネルディスカッション..... 6
- コミュニティカレッジより同窓生の皆様へ..... 6
- 四日市大学 公開講座2010..... 6
- 同窓会掲示板

ご挨拶

愛知支部長 半谷 眞一郎
 (経済学部 一期生)

同窓生の皆様、お元気でお過ごしでしょうか。昨年は愛知支部設立5周年の記念事業も皆様方のおかげで無事盛大に終わることが出来ました。

去る平成22年2月20日、名鉄グランドホテルにおいて開催されました懇親会では、永戸常務理事をはじめ多数の大学関係者にご出席いただきましたことを心から感謝申し上げます。

また、特別ゲストのマジシャン丸山真一さんの手品も大変盛り上がり、楽しいひと時を過ごすことができました。そして、なんとと言っても、同窓生同士の懐かしい思い出話には花が咲き一番の収穫となりました。

愛知支部では、今後も同窓生の皆様と親睦・交流を深めることのできる企画、さらに、将来へ繋がる活動を計画して参りたいと考えています。その為にも、大



KUNI-KEN メジャーデビュー



サッカー部天皇杯出場



奥 華子 大学祭特別ライブ 10月24日

学、学生、同窓会が三位一体となった活動を定着させる必要があるのではないのでしょうか。これまでの伝統を守り続ける事と、これから引継いでいかれる後輩の方々にもしっかりとした活動実績を残して参りたいと思います。

また、同窓活動とは横の繋がりだけでなく、縦の繋がりにおいても、交流が生まれる素晴らしい会です。従って、愛知支部のみならず、その他の地域の支部会が発足され、各支部が活発な活動を行っていただきたいと思っております。

今後も、愛知支部の活動状況は、会報誌に掲載してまいりますのでご覧になっていただきたいと思います。そして会員の皆様は何を求め、これから同窓会が、何ができるのか、役員ともよく相談し、検討をして参りますので、皆様からどしどしご意見などを賜りたいと思っております。

最後になりましたが、愛知支部の発足から活動初期の基礎固めができましたのも、関係各位、会員皆様のご尽力の賜物と思ひ、心より感謝申し上げます。今後とも宜しくお願い申し上げます。

母校への寄贈

このたびの平成21年度の母校への協力事業は、同窓会設立20周年記念企画として、少し特別な事業を実施いたしました。9号館1階コラボレーション・スクエアの整備事業です。

母校に対する願いは皆さんと一緒に「母校の更なる発展」です。この願いを実現するにはどのような計画がふさわしいのか。節目となるこの時に実行できるよう、実は数年前から時間をかけ話し合ってきました。

現在の四日市大学を支えている後輩たちが少しでも快適に過ごせるような、また、仲間同士集まって気軽に楽しめるような、そんな居心地の良い場所を提供できないだろうか。そして、そこを拠点として、これからも大学をどんどん盛り上げていって欲しい。自分たちの在学中の経験をもとにたどり着いたのはこのような思いで、これを母校に伝えたいところ、形にするための場所を快く提供してもらえたいことになりました。

おかげで具体的な計画を進めることができるようになり、同窓会予算と事業内容とを慎重に検討した結果、平成21年度より3ヶ年計画で実施することとなりました。

初年度の計画に9号館を選んだ理由は、活用できるスペースが広いこと、冷暖房を完備していること、学生駐車場に近く学生の動線にあること、学生が利用しやすい場所であることなど、学生にとってもより有益な場所となると思われるため



です。後輩たちが気持ちよく過ごせるよう、いくつかの備品を母校へ寄贈し、設置させていただきます。

内容は次の通りです。
まずは、前面がガラス張りの吹き抜けのロビースペースに、落ち着いた色合いの大きなテーブル。このテーブルの中央には、熱帯魚の泳ぐ大型水槽を据え付けました。ここは学生がミーティングや自習等を行うことができるフリースペースであり、同時に、疲れたときには水槽を眺めながら癒される、癒しの空間でもあります。壁側には、リラクセスできるような長めのソファを用意しました。

また、ガラス面にはカウンターテーブルを設置し、窓越しに外の池を眺めながらおしゃべりをする、といった使い方などしてもらえらものと期待しています。

そのほか、コラボレーション・スクエアの中央部分には、自習用の机と、いつでも誰でも利用することのできるパソコンも2台導入いたしました。その傍らに、ゆっくりとくつろぐことのできる明るい色調のソファあり。

これまでの四日市大学構内とは、少し変わったイメージの空間になったと思います。後輩たちにはとても好評のようで、既にいろいろと活用してくれています。

機会がございましたら、皆さんもどうか母校に足を伸ばしていただき、イメージチェンジをしたコラボレーション・スクエアをお楽しみいただけたら、と思います。

第4回ゴルフコンペ

	優勝	準優勝	3位	OUT	IN	HDCP	NET
山口 鎮	42	45	45	55	50	30.0	72.6
志賀 昭太	45	43	45	55	50	30.0	74.8
小川 直哉	45	43	45	55	50	30.0	75.0

平成21年11月8日、毎年恒例となった同窓会ゴルフコンペを養老カントリークラブにて行いました。ラウンド終了後の懇親会では参加者同士の交流を深めることができました。

今年度もゴルフコンペを開催します。是非ご参加ください。詳細は、裏表紙「同窓会掲示板」でご確認ください。

参加者の声

松永 康宏

四大卒業後、転勤族で17年ぶりに大学近くの支店に配属。参加可能な勤務先で参加。スコアは良くなかったけど、いい時間を過ごせました。

小林 満次

つらいばかりのゴルフじゃなくて、みんなで楽しいゴルフが出来て幸せです。

高田 和裕

毎年、同窓会ゴルフコンペに参加させてもらっています。同窓生のみなさんも、ぜひ参加してください。

牧野 貴恭

第1回大会から参加しており、様々な年代の方と交流ができて楽しいです。また参加したいと思います。

小川 直哉

同じ大学出身の方々とはわきアイアイと話しながらゴルフができ、有意義な時間が過ごせます。ぜひ時間がある方は参加して下さい。

真田 浩史

来年はドラコンかニアピンとりたいですね。。



同窓会成績優秀者奨学金授与

今年度も、本会の事業のひとつである「同窓会成績優秀者奨学金」の授与式が、平成22年9月15日に行われました。

これは、学業に優れた学生に対して、一層の研鑽に努め、経済的負担を軽減するため、平成15年度より始めたものです。

当日は、本会 佐藤副会長より、表彰者へ奨学金5万円が授与されました。今回の表彰者は左記の5名です。

● 経済学部 橋本 庄平 (経済学科)

● 環境情報学部 棚原 あすか (環境情報学科)

● 総合政策学部 村澤 大輔 (メディアコミュニケーション学科)

● 総合政策学部 青 和幸 (総合政策学科)

● 総合政策学部 伊藤 弘人 (総合政策学科)

今後とも皆さんの活躍を期待しています。



活躍する同窓生

—松永兼治さん—

KUNII—KENが「WWW」でメジャーデビュー!

兄KUNIAKIと弟KENJIの津軽三味線ユニット「KUNIIKEN」がミニアルバム「WWW」でメジャーデビューを果たした。大学時代は「仲間や多くの人と出会ったことでの付き合いが身についた。」と話してくれた弟KENJIさんは、2002年3月に本学を卒業された同窓生です。鬼頭ゼミで学ばれ卒業後も先生との繋がりのなかで、「KUNIIKEN」は2003年10月に四日市大学が設立したレーベル「YUME」から「BROTHER」をリリース。このCDは、大学のスタジオで収録が行われ多くの同窓生も携わりました。また、同窓生のなかには2005年の愛・地球博での単独ライブの際には、音響・照明のスタッフとして参加した方もおられると思います。

このように大学とも縁の深い「KUNIIKEN」は、その後、舞台を世界に移し2007年にはインドでオンエアされたトヨタのCMタイアップ曲として採用され、ドバイを皮切りにインドやシンガポール、マカオなどの海外公演にも挑戦し続けています。

今回、リリースされたミニアルバム「WWW」は「World Wide Web」ではなく「World Wide way」との意味で世界への道を歩んでいきたいと思います。曲が込められているとのこと。オリジナル曲については、バンド編成による楽曲になっています。

11月には左記の通り名古屋でのライブも予定されているので是非、足を運んでいただき、同窓生の活躍を見ていただければと思います。

KENJIさんからメッセージ

皆さんのおかげで、メジャーデビューすることができたと思っています。ありがとうございます。四日市大学の同窓生として誇りに持ち名に恥じないように国内外でがんばっていきますので、応援のほどよろしくお願いします。

KUNII—KEN World Wide way tour 2010 さあ、機は熟した。!

11月25日 名古屋市中村文化小劇場

11月26日 名古屋市緑文化小劇場

OPEN 18時30分

前売券二千五百円

START 19時

当日券二千七百元

全自由席

チケットぴあ(0120-4704)で販売中!

詳しくは、ホームページ<http://www.kuni-ken.com/>をご覧ください。



ごみゼロウォーク・エコフェア

in 四日市大学

平成22年7月31日に、ごみゼロウォーク・エコフェア in 四日市大学を開催しました。この取り組みは、本学の四日大エコ活動(学生主体の環境活動団体)と、三重県四日市農林商工環境事務所の主催によるもので、地域の方々を含む約100名の皆様に参加していただきました。

最初に宗村学長から挨拶があり、その後、3班に分れて大学近傍と山城道路周辺の清掃(ごみゼロウォーク)を行いました。山城道路を清掃する企画は、四日大エコ活動開始以来の学生達の目標で、今回それが実現したわけです。また、環境分野の8団体にご参加いただき、大学中庭でブースを出展していただきました(エコフェア)。興味深い展示物が並び、特に小魚(四日市の在来種)の入った水槽の前などに子供達が集まり、出展者と交流する姿が見られました。

ごみゼロウォークで頑張った後には、流し素麺が振舞われました。素麺を流す竹製の樋は大学キャンパスから切り出し、PPK四日市の皆様のご指導のもとで学生達が作成しました。見事な出来でした。また、素麺は大矢知手延素麺協同組合から提供していただきました。中庭に設置された長さ約20mの樋を流れる素麺を、皆で先を争うように食べましたが、疲れた体に冷たいのど越しの素麺が好評だったようです。



山城道路を清掃している様子

サッカー部 天皇杯出場

2年ぶり4度目 第90回 全日本サッカー選手権大会



8月29日に行われた三重県サッカー選手権大会決勝で勝利し、三重県代表として2年ぶり4度目となる天皇杯全日本サッカー選手権大会の出場を決めました。

三重県サッカー選手権大会の準決勝では、近い将来のリーグ加盟を目指しているFC鈴鹿ランポレと対戦、延長戦のすえ、2-1で破り決勝戦に進出。近畿大学工業高等学校との決勝戦でも延長戦までもつれこみましたが、1-0で見事に勝利し優勝しました。

9月3日に鈴鹿スポーツガーデンで開催された天皇杯1回戦では愛知県代表の中京大学と対戦しました。結果は5-1で敗退しましたが、中京大学は東海大学サッカーリーグ1部に所属し、今年7月に行われた総理大臣杯では準優勝をしている強豪校から後半に1点をとるなど、チーム一丸となり最後の最後まで諦めない粘り強い戦いでした。

伊藤総監督よりOBの方へ

三重県サッカー選手権大会において2年ぶり4回目の優勝を果たし第90回天皇杯全日本サッカー選手権大会に三重県代表として出場することができました。

今年のチームでは優勝は難しいと予想していましたが、事実上の決勝戦と言われた準決勝でリーグ入りを目指しているFC鈴鹿ランポレにチーム一丸となり戦い勝利できたことが優勝に繋がったと思います。

優勝の余韻に浸ることなく5日後の9月3日に行われた天皇杯1回戦の相手は愛知県代表の中京大学、7月に行われた総理大臣杯全日本大学サッカートーナメントで準優勝している強豪チームです。試合は平日のナイターにも関わらず教職員や保護者そしてOB、OG、本学学生とたくさんの方に応援していただきましたが、やはり力の差は歴然としており結果は1-5の完敗でした。天皇杯出場は難しいと思っていましたが「勝負はやってみないとわからない」「強いから勝つのではなく勝つから強い」と選手たちに教えられた大会でした。

最後になりましたが日頃からクラブ活動に対しご支援ご協力をいただき心からお礼を申し上げます。



大学祭へ行こう!



10月23日(土)・24日(日)

昨年度に引き続き、今年度も四日市看護医療大学との合同大学祭です。今年のテーマは『「笑劇」～まじめにとことんバカになれ～。』です。大学生だからできる「楽しい」を求め、バラエティ豊富な大学祭を企画したいとの意図からつけられました。

毎年、お昼時に賑わう模擬店は、18店舗の出店を予定し、ステージでは、アニメ映画「時をかける少女」の主題歌でおなじみの奥華子さんを招き、特別ライブが予定されています。

その他にも、ちびっこよんよん祭など、家族で楽しめる企画も用意されています。

是非、皆様でのご来場をお待ちしています。

※詳細は、四日市大学ホームページで確認してください。



奥華子

キャリアサポートセンターからのお便り(旧就職課より)

OB・OGの皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は何かとご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さてリーマンショック以降、景気は一部持ち直しているのかのように報道されていますが、景気回復どころか円高が止まらず、またデフレスパイラルが進み、どんどん経済が悪化していくように思えます。

このような状況下でありますから当然、就職を取り巻く環境は非常に厳しく、2010年の本学卒業生の就職率に至っては88.3パーセントに留まり、過去最悪の記録となりました。これは昨年の92.5パーセントを4.2ポイントも減少しました。インターネットによる求人数も大幅に減少しており、また各地で開催される合同企業説明会での参加企業数もどんどん減少しています。こんな中で就職活動をしている学生達は必死に頑張っている反面、何かに縋りたい気持ちと、就職は自己責任だという気持ちが入り混じり、複雑で不安な表情です。不況により求人関係は数年前と比べ大きく変わり、現在の就職を取り巻く環境は求職者にとって一層厳しいものとなりました。

大学生とは言え、現在まで小学校・中学校・高等学校での(ゆとり教育)生活で育ってきた過程で仲良しクラブ的な感覚ではこの就職戦線を勝ち抜くことができません。そこで行政は学生に競争力をつけさせるため、方向転換させ、所謂、基礎学力や職業観や就業力に力を入れた教育や指導を求めています。大学としては今までのゆとり教育での感覚を払拭させ、そのギャップをできるだけ早く埋め、企業が求めている人材に近づけ、就職試験でのマッチング率の向上に努力しなければならぬと思っております。

企業が「求める人材」についてよく使われ

ている言葉に「社会人基礎力」があります。それは①一歩前に踏み出す力 ②よく考え抜く力 ③コミュニケーション力の各能力のことを言います。またその企業の活動に必要なスキルや有資格者を求めるものです。所謂これは何を言おう「即戦力」になる人材を求めています。当然企業は競争力が要り、利益を生む人材を求め、採用試験には最大の神経を使います。

社会は急激なグローバル化が進み、あらゆる企業はグローバル社会の中での経済活動をしていくことを前提に求人しており、経済活動はどんどん変化していくことに我々も学生も理解しなければなりません。学生は入学と同時に就職をどのように考え、どのように行動するか日々考え、キャリアデザインを早くから描き、就職の準備をしておくなければ間に合わないことを認識する必要があります。キャリアサポートセンターではこのように変化する社会に学生を送り出すため、教員とともに就職活動のサポートをするために協力体制を強いております。

本学学生はキャリア教育においてキャリアデザインをしっかり描き、またそれらを素に社会を生き抜いていくため、強い人間力や就業力を身につけるよう教育・指導をしています。

就職は一時的に解決できるものではなく、学生一人ひとりの人生の道を決める最も大事なことであるため、我々は最大の神経を配り、慎重に職務を遂行しております。

学生たちは不況がいつまで続くかわからない状況下で必死に就職活動をしています。OB・OGの皆様には後輩たちの良き相談相手になつていただきますよう心よりお願い申し上げます。また、我々にも是非、情報やアドバイスなどをいただきますよう重ねてお願い申し上げます。

四日市大学 平成23年度入試概要

募集学科

経済学部 経済学科・経営学科
環境情報学部 環境情報学科
総合政策学部 総合政策学科

入試日程

推薦入試

推薦A日程 11月 3日(祝) 一般推薦、自己推薦、クラブ推薦
推薦B日程 12月18日(土) 一般推薦、自己推薦、クラブ推薦
推薦C日程 3月16日(水) クラブ推薦

学力入試

学力A日程 2月 3日(木) 2科目入試
学力B日程 2月28日(月) 2科目入試
学力C日程 3月16日(水) 1科目入試

大学入試センター試験利用入試 ※個別試験は課さない

前期日程 出願期間：1月 7日(金)～2月 2日(水)
中期日程 出願期間：2月 7日(月)～2月25日(金)
後期日程 出願期間：2月28日(月)～3月14日(月)

AO入試(随時型)

出願期間：平成22年3月24日(木)まで随時

社会人入試

出願期間：平成22年3月24日(木)まで随時

**社会人入学
パンフレット**

社会人学生として学ぶことの魅力、
社会人学生の声や姿を紹介しています。

内容

- 社会人入学の魅力、特典
- 学べる内容(学部学科紹介)
- 仲間と学ぶ楽しさ(社会人卒業生・現役社会人学生インタビュー)
- 不安、疑問の解消(一般学生とのコミュニケーションは?講義についていけるか?)
- 入学時納入金について:入学金・授業料4年間半額免除

四日市大学
2011
社会人入試

社会人だから
学べることがある

資料請求・お問い合わせ先

四日市大学 入試広報室

〒512-8512 四日市市萱生町1200
TEL : 059-365-6711 FAX : 059-365-6630
E-mail : nyushi@yokkaichi-u.ac.jp

●四日市大学入学試験特待生…推薦入試(一般)、学力入試、大学入試センター利用入試で「特待生」を採用します。

情報センター(図書館)利用案内

同窓生の利用について

情報センターは、同窓生の皆さんも利用することができます。
 手続きは、2階カウンターにて「利用者カード」を即日交付しますので、
 身分証明書(運転免許証・社員証等)と写真1枚(縦2.5cm×横2cm)
 をお持ちください。



開館日	月～金曜日	夏・冬・春期休業期間
開館時間	9時～18時	10時～16時
閉館日	土・日曜、国民の祝日 本学の行事に係わる日	

雑誌	図書	冊数	期間
3冊	10冊	冊数	期間
1日	2週間		

【お問い合わせ先】 四日市大学情報センター 電話(059)365-6712

※雑誌の最新号は、貸出しできません。

国際交流企画パネルディスカッション

「持続可能な多文化共生を考える」

留学生支援センターでは、国際交流活動の環としてパネルディスカッションを行い、一般公開することになりました。国際交流や地域社会に見識の深い本学教員がパネリストとして参加し「持続可能な多文化共生」について討議します。

地域社会において、日本人と外国人との共生は喫緊の課題です。誰もが暮らしやすい地域をつくるため、ひとりひとりが意識し、自分の役割を果たさなくてはならない時代がきています。文化の相違やことばの壁が相互コミュニケーションにどのような影響を与えるのか、様々な課題をどう克服していくのか、などについて参加者の皆様がお考えのきっかけとなれば何よりです。

(ご参加を心よりお待ちしております。)

- 日時 平成22年10月24日(日) 10時～10時40分【受付9時50分～】
- 場所 四日市大学ADV教室
- コーディネーター 岩崎 恭典(総合政策学部教授)
- パネリスト 富田 与(経済学部教授)
- (予定) 千葉 賢(環境情報学部教授)
- 小林慶太郎(総合政策学部准教授)
- 西牧 義江(既学園理事長特命補佐)
- 主催 四日市大学
- 後援 四日市市
- お問い合わせ 四日市大学留学生支援センター 電話(059)365-6793



コミュニティカレッジより同窓生の皆様へ

コミュニティカレッジでは、おかげさまで開講より9年が経ちました。この間、たくさんの同窓生の方にもお越しいただいております。
 これからも多くの方のご利用、心よりお待ちしております。

▼2010年11・12月開講予定講座

教養・健康	4種7講座	写真・絵画・三味線・ウクレレ
英会話	14講座	入門～上級、こども英会話
語学講座	5ヶ国語15講座	中国・フランス・スペイン・ドイツ・韓国
パソコン	7講座	入門～応用・デジカメ講座

講座名	日程	回数	受講料	テキスト代
宅地建物取引主任者講座	土曜昼間	54回	67,500円	20,000円
簿記検定2級・3級講座	土曜昼間	15回	18,000円	4,700円
秘書検定対策準1級・2級講座	土曜昼間	18回	22,500円	8,400円

～2011年開講予定の講座～

上記の3講座に加え、販売士検定試験2級講座、ファイナンシャル・プランニング技能検定3級講座、カラーコーディネーター2級・3級講座などの実施を予定しております。

◀2010年開講の資格講座

一方、資格講座は7年が経ち、仕事に必要な資格講座の受講生は非常に熱心で、有資格者が生まれ、在校生はもちろん、社会人も多く受講されています。資格講座は、秋の受験に向けて、毎年、4月募集となっております。来春も開講予定となっておりますので、ぜひ、お申込みください。

なお、同窓生の皆様には、**受講料が2割引の特典**があります。

お問い合わせ先

四日市大学コミュニティカレッジ 〒512-8512 四日市市萱生町 1200 TEL:059-365-6615 FAX:059-361-0770
 E-mail:caeb@yokkaichi-u.ac.jp http://www.yokkaichi-u.ac.jp/caeb/
 ■営業時間 火曜～金曜・9:30～17:00、土曜・8:00～15:00 ■定休日 日・月曜日

『四日市大学 公開講座2010』

「変化をとらえる」

「時間は変化を生みだす」

何かと気ぜわしい毎日の暮らしのなかで、皆さんはふと足を止め、こんな思いに耽られたことはないでしょうか。とにかくさまざまなことが起こる。だが、さて思い返してみると、いったい何があったのか。あんなこと、こんなこと、それは確かにあった。現在は当時ではなく、ここはあそこでもない。だがしかし、はたしてこの一年、いったい何があったのか。人も自分も同じだ。ひよつとしたら何も変わっていないのではないかと。

しかし、それは錯覚というものです。私たちはどういふわけか、いつともない変化を感じたり理解したりすることが苦手なようです。実際の話、刻一刻、個人を、ひとつの家を、そしてひとつの国家や社会をも変えていく、抗いがたい流れといったものがあるのかもしれない。

本学の研究室では、各室の住人たちが時間の流れの最先端に身を置いて、各人各様、それぞれが捉えた変化と真剣に向かい合っています。そして、その変化が起こった原因や、それがたどるようになる帰結について、日々、考えをめぐらせています。

ご多忙とは存じますが、皆さんにも一緒にお考えいただけたらどんなにかありがたいことでしょう。みなさんのご来場を心よりお待ちしております。

四日市大学公開講座委員長 麻沼 賢彦

10月2日 (土)	「生きる」と働く ——キャリア教育のジレンマ—— 経済学部教授 小森 久衛
10月9日 (土)	「京都議定書からCOP16」 環境情報学部教授 新田 義孝
10月16日 (土)	「上海万博見聞録」——中・日・韓美術作品交流——展から見えてきたもの—— 総合政策学部教授 谷岡 経津子

●会場 じばさん三重2F 研修室 (四日市市安島1丁目3番18号)
●時間 14時～16時 (13時30分より受付)

●定員 50名(各講座)
●受講料 無料

●修了証書 3講座中2講座を受講された方にお渡しします。
●申込方法 左記の連絡先まで「お名前」「住所」「希望する講座」をご連絡ください。

●お問い合わせ 四日市大学 庶務課
TEL(059)365-6588
FAX(059)365-6630

●主催 四日市大学
●後援 三重県教育委員会・四日市市・四日市市教育委員会・四日市市商工会議所

同窓会掲示板

第5回 ゴルフコンペのご案内

- 1.日 程：平成22年11月7日(日)
- 2.場 所：名松ゴルフクラブ
- 3.会 費：3,000円(賞代)
プレイ費14,630円(昼食+パーティー代込)
- 4.申込期限：平成22年10月25日(月)
- 5.申 込 先：下記までメールでお申込ください。
E-mail:dousou@yokkaichi-u.ac.jp
幹事 9期生 黒田まで

多くの同窓会の皆さんに参加していただけるよう、当日は楽しいイベントも企画しています。是非、ご参加ください。

ご注意ください!

最近、同窓会の名を騙り、住所、お勤め先を聞いてくるとのいった情報が出されています。同窓会事務局では、そのような調査は行っていませんので、絶対に教えないようにしてください。

なお、住所が変更になったときは、同窓会事務局までお知らせください。

原稿募集

皆様の会報への参加企画として、サークルやゼミなどの「同窓会のお知らせ」や「結婚しました!」「お店をしているので是非きてください。」など近況の原稿を募集しております。

また、ご意見やご希望などございましたらお寄せください。

編集後記

「あっ」という間に1年が過ぎ、同窓会報をお届けする時期になりました。この1年間、皆様はどのようにお過ごしでしたか?

いつも編集をしながらこの一年間を振り返っていますが、私にとって進歩のない1年でした…。

反省。是非、皆様方の活躍、情報をお聞かせください。

同窓生便り

説田和也君(1992年卒 経済学部1期生)

みなさん御無沙汰しております。卒業から20年月日が流れるのも早いですね。大学4年の時就職が決まらず、不安な毎日でした。結局就職が決まったのは卒業式の前日滑り込みセーフといったところでしょうか。しかし、3か月で退職し、自分のやりたい仕事へ。自分で起業し、経営者として頑張るつもりが、家庭の事情で家業を継ぐことに。ちょうど24歳。ついでに結婚し、家業を継ぎました。今をときめく「農業」です。私の家業は四日市大学の隣町の山城町で「やませ果樹園」の名称で梨園を経営しております。自分の希望の職種ではないものの、男一人なので必然的に継ぐことになりました。今ではいろいろなところで農業が注目され若者の参入が増えていますが、これがなかなか一筋縄でいかない職業です。何しろ天候が相手ですから。その年の天気によっていろいろ変えていく必要があります。

敵も、台風・温度変化・降水量・病気・害虫さまざまな難問があります。それを攻略するのも楽しさになってきました。今では地域の農政のけん引役として頑張っています。これからは食の重要性も必要になってきております。生産者の立場から発信していきたいと思っております。



梨づくり80年「竹炭減農薬栽培」

やませ果樹園

四日市市山城町626-5
TEL/FAX: 059-337-1243

